

静かな環境を確保できる”という点で特に特徴的な園である。

活動時の音環境調査として、発生した音の種類の記事及びICレコーダ（SANYO ICR-PS285RM）を用いた活動音の収録をおこなった。主に自由あそび時を調査対象として、施設内の様々な場所における発生音の調査を試みた。

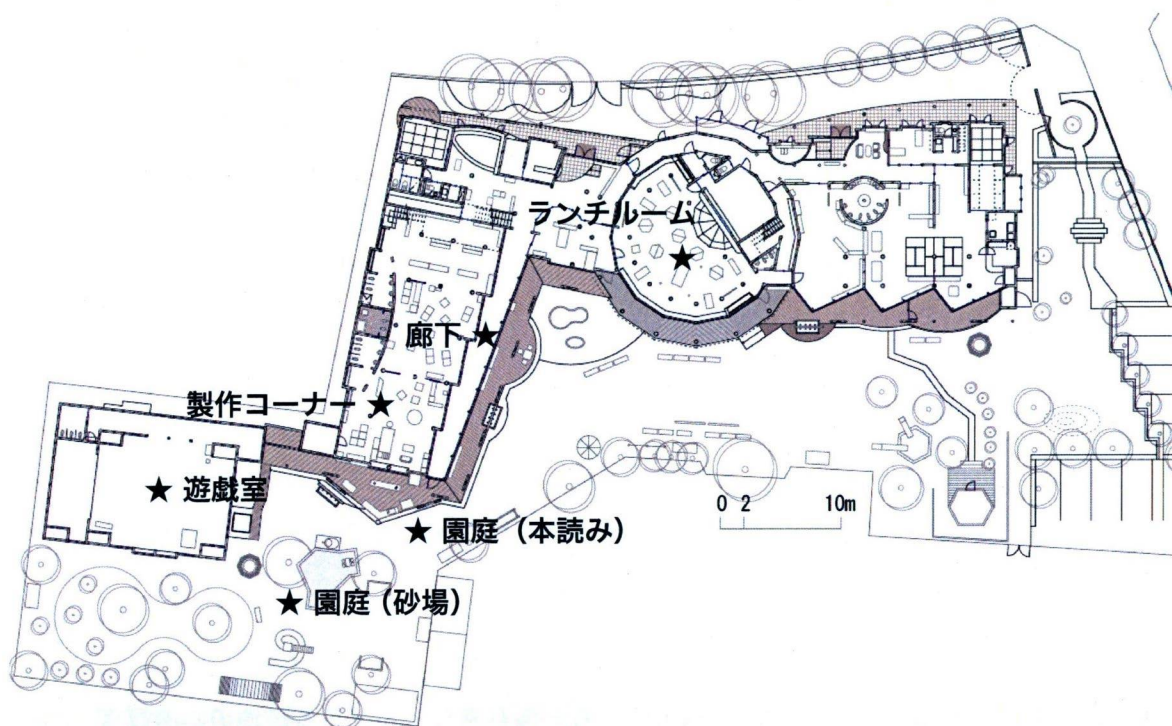
調査は2009年4月23日に行い、幼児が随時登園してくる時間である9:00～10:00を観察対象とした。実験者は施設内の各場所においてICレコー

ダを用いた収録及び活動状況の記録を行い、特徴的な音については別途記録を取った。後日収録した音を再生して“発生音”、“場所”、“状況”を書きおこし、時刻経過とともにまとめて分類してゆく形で実態把握を試みた。

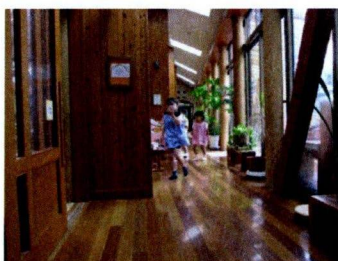
## B-2. 自由あそび時の発生音

こどものもりでの自由あそび時における発生音調査結果を図表B3に示す。

図表に示した結果から、幼児が主体となって発生



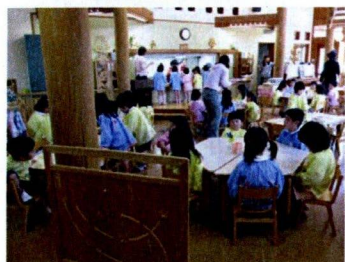
製作コーナー



制作コーナー横廊下



遊戯室 (太陽の部屋)



ランチルーム



園庭 (本読み)



園庭 (砂場)

図表 B 2 調査対象施設の概要及び調査時の活動風景



図表 B 1 収録風景

時刻	活動状況	音源
AM09:00	幼児と保育者が縄跳びをする時の掛け声と縄が地面とすれる音	行為、声
AM09:01	アニメ、漫画のキャラクターを真似た男児の甲高い声	声
AM09:02	鎖状の遊具が揺れて発する金属がこすれる音	物、行為
AM09:02	幼児の挨拶の声：「おはようございます」	声
AM09:03	女兒が縄跳びをして地面と足が接地する音	行為
AM09:04	女兒と男児が喧嘩する声：「ばかやろう」「いやだ」	声
AM09:06	木製の遊具が軋む音 男児の甲高い声	物、行為、声
AM09:06	木製の廊下を走る足音	行為
AM09:06	保育者と幼児が挨拶をする声：「ばいばい」	声
AM09:08	幼児がセロハンテープを引っ張って千切る音	行為、物
AM09:10	幼児の甲高い声（廊下では大きく感じるが教室の中では小さく感じる）	声
AM09:12	幼児の挨拶の声：「こんにちは」 女兒が飛び跳ねる音	行為、声
AM09:13	保育者の挨拶の声：「おはようございます」、個人的な会話	声
AM09:13	衣擦れの音 すり足で移動する音	物、行為
AM09:14	保育者と幼児とが集まってクイズをする場面の声：「これはなんだ？」	声
AM09:15	幼児が手を叩く音	行為
AM09:15	牛乳パックを床に落とす鈍い音	行為、物
AM09:17	幼児が泣き叫ぶ声	声
AM09:18	ビニール袋がこすれる音	物
AM09:19	鈴の音	物
AM09:20	プラスチックのコップで滑り台を叩く音	物、行為
AM09:20	靴が土の地面と擦れる音	行為、物
AM09:20	床を規則的に叩く音	行為
AM09:21	保育者が幼児たちに絵本を読む声	声
AM09:23	幼児が唇をかむ様にして「しっ！しっ！」と空気を吐き出して出す音	行為
AM09:24	風で木々が擦れる音	物
AM09:25	女兒が喧嘩している声	声
AM09:28	水道から水が垂れ流される音	物
AM09:30	食器がぶつかる乾いた音	物
AM09:31	幼児たちが食事前のメニューを読み上げる声	声
AM09:31	園庭で幼児たちに絵本を読む保育者の声	声
AM09:32	幼児が鎖でできた遊具でジャラジャラと音を立てる音	行為、物
AM09:35	砂場に水をまき散らす音	行為
AM09:37	幼児が木製の遊具で遊んでいる時の木が擦れる乾いた音	行為、物
AM09:37	室内で絵本を読み聞かせる保育者の感情のこもった声	声

図表 B 3 自由あそび時の音環境実態調査例

させている音が多いことが特徴的であると推測できる。特に、幼児が何らかの道具を使つての行為の結果である場合が多かった。

また、対象園は、立地や建築計画時の配慮等の面から、園外で発せられた音はあまり気にならない印象であった。対象園に在籍する幼児は、普段の生活の中で自らや園内の他者が発する音を静かな中で聞くことができる環境、つまり、幼児自身が“自発的な行為の結果として発せられた音”や“自然の流れの中での音”に耳を傾けられる落ち着いた環境であるので、教育的観点からみると、“音に対する気づき”を養う、という学習環境として適した環境であるといえよう。

教育的観点をふまえて対象園で実施されている音に対する取り組みの例として、風鈴の音色が挙げられる。園長へのインタビュー時には「こどもに季節を感じて欲しい、という理由で風鈴を設置した」との意見が聞かれた。こうした取り組みを実践するこ

とを考えると、前提として“静けさ”が保たれて様々な音に耳を傾けることができる環境であることが重要であると指摘できる。以上に指摘したように、適度な静けさは、保育施設で確保されるべき重要な環境要因であると考えられる。

次に、調査した発生音をふまえ、音の分類方法を検討した結果について述べる。3つの観点から検討した結果を図表B4に示す。

分類Aは、発生音源に着目した分類方法である。人間の身体によって発せられた音、物により発せられた音、人間が物を用いることで発せられた音、の3種類に分類できる。

分類Bは、保育施設で発せられる音としての教育的なねらいの有無に着目した分類方法である。ここでは、主として発生要因を人間であるとして捉えらると、学習者である幼児の活動に伴って自然に発せられる音、保育者が環境を通しておこなう学習を意識して用意した音、の2種類に分類できる。

◆分類A：発生音源に着目した分類

発生音源	発生音源例
人	自分の声・他人の声 等
物	風鈴の音色等
人と物（行為）	セロハンテープを千切る音・床を踏む音 等

◆分類B：教育的観点に着目した分類

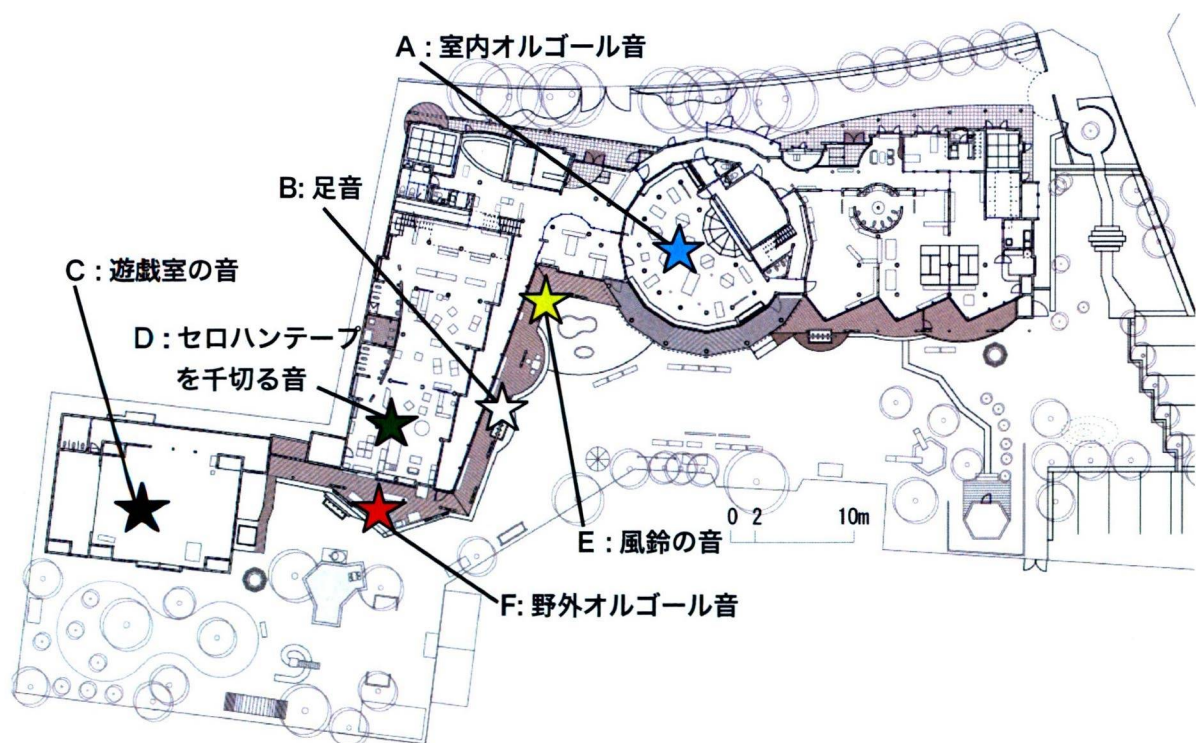
保育者の意識	発生音源例
自然発生的な音	活動に伴って自然に発せられる音 例) セロハンテープを千切る音
意識的に発生させている音	保育者が環境を通しておこなう学習を意識して用意した音 例) 季節感を意識した風鈴の音

◆分類C：物理量と感覚量の違いに着目した分類

物理量と感覚量の違い	発生音源例
印象的であって音圧レベルの低い傾向にある音	葉っぱが風にそよぐ音
印象的ではないが音圧レベルの高い傾向にある音	足音、園庭の鋼製遊具のゆれる音

図表 B 4 音の分類方法

提示音	観測場所	音の発生状況	提示音源
A 室内オルゴール音	ランチルーム	昼食時に使用されるランチルームでは、落ち着いて食事をする環境づくりとして、食事の際にスピーカからオルゴール音楽が流されている。	活動時の収録音
B 足音	制作コーナー 横の廊下	幼児が廊下の上を走り回る時に発生する音である。幼児が能動的に発する音の中で最も高頻度で発生していると推測される。	活動時の収録音
C 遊戯室の音	太陽の部屋	太陽の部屋は、自由あそび時のごっこあそび、集会時の誕生会、劇等のイベントなどで使用される。収録は、自由あそび時におこなった。	活動時の収録音
D セロハンテープを千切る音	制作コーナー	制作時に使用されているセロハンテープを千切る時の特徴的な音に着目した。幼児の行為に沿って身近で発生する音である。	模擬して作成した収録音
E 風鈴の音	園庭プール 付近	主に夏期において「季節を感じて欲しい」という園の方針で風鈴が置かれている。	活動時の収録音
F 野外オルゴール音	園庭	幼児に「食事当番の幼児が当番の仕事をする時間」を知らせる等の意味づけがされており、主に自由あそび時にスピーカから流されている。	活動時の収録音



図表 C 1 クイズ音源観測場所

分類Cは、物理量と感覚量の違いに着目した分類方法である。実際には音は空気の振動であり、物理量としてはマイクロホンの位置で測定された音圧レベルとして表される。一方、人間側から聞いた音の世界は物理量で測定し難く、従来から指摘されているような聴感としての音の大きさ、また、カクテルパーティ効果等で着目されているような、同じ場にいたとしても人によって気づく音が異なる、といった現象などを考慮すると、幼児自身を取り巻く音環境を客観的に把握することは難しい。そこで、観察者の聴感的印象を参考に、印象的であって音圧レベルの低い傾向にある音、印象的ではないが音圧レベルの高い傾向にある音、の2種類の分類方法を検討した。

## C. 音クイズによる幼児の環境認識調査

### C-1. 調査方法

#### C-1-1. 実験概要

保育施設における音環境が幼児にどのように捉えられているのかを検討することを目的として、音をクイズ形式で提示して幼児自身が提示音についての印象を口述する、音クイズを実施した。

一般に音に対する印象は経験による影響が大きいと考えられることが多い。幼児自身の発育環境は施設外での時間も長いこと、また、本研究の目的として保育施設での環境を通じた教育効果を検証することも含まれていること等を考慮し、B章の実態調査

をふまえ、実際に園の活動時に発生した音の中から提示音の種類を選定し、提示音源を作成した。収録した活動音から作成した音源を音クイズとして幼児に出題し、得られた回答から幼児の音環境に対する認識を探ることを試みた。

#### C-1-2. クイズ音源

対象園での実態調査及び前章で述べた音の分類方法をふまえ、6つのクイズ音源を作成した。クイズ音源及び提示音に選定した音の観測場所を図表C1に示す。

提示音は、実態調査時において園の自由時間にICレコーダ等を用いてPCM形式で録音した音及び活動観察をふまえて実験者が活動状況を模擬して収録した音を用いた。音源の提示時間は10秒間として編集した。

#### C-1-3. 実験状況

登園時及び昼食後の自由あそび時において、幼児を一人ずつ室内に呼び、実験者2名、回答者(幼児)1名、計3名の状況でおこなった。実施風景を図表C2に示す。

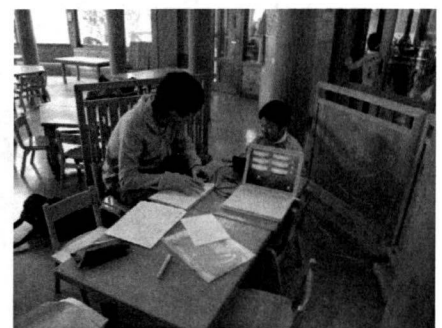
音クイズは主に和室を用いておこない、予備調査では遊戯室及びランチルームも利用した。音環境に着目した実験であることから、外からの音の侵入を防ぐこと、過度な残響を避け、適度な残響時間を確保することなど、音響的観点から実験環境に十分配



和室



遊戯室



ランチルーム

図表 C 2 音クイズ実施風景

慮することが必要である。

対象園の遊戯室は、配置上の理由から園庭と隣接していて喧噪感があることが指摘できる。また、ランチルームは教育的効果をねらって、教会のような響きのある空間でオルゴールを流す、という使われ方をしており、通常の教室空間等と比較して残響過多であることが指摘できる。以上に挙げた喧噪感と過度な響きは音響的には特異な環境となるので、本調査をおこなう場所としては不適切と判断した。

音クイズ本実験は、喧噪感や過度な響きによって生じる提示音の不明瞭さや幼児の集中力の妨害等の問題に対処し、静かな環境を保ちやすく、落ち着いた環境で適切に音クイズを実施しやすいという観点から、実験場所として本を読むコーナーに隣接されている和室を選定した。

クイズ音源の提示にはスピーカ（YAMAHA NX-U10）を用いた。実験時の暗騒音は約62dB(A)、提示音の音圧レベルは回答者位置において75dB(A)前後であった。

#### C-1-4. 手続き

実験者が幼児と対話しながらクイズ音源についての印象を聞き取る形式で実験を行った。各実験者は、回答用紙への回答内容の記入、PCからのクイズ音源の提示を分担して行った。幼児が回答席についた時点を実験開始時とし、はじめに幼児の年齢・所属を調査して、クイズの教示を行った。

また、予備調査では、クイズ音源を提示して「何

の音ですか？」と質問したところ、幼児の聞いた音についての回答傾向は、大きく“モノ”、“行為”、“人”、“場所”の4種類に分類される。それをふまえ、本調査ではそれらを積極的に問う質問項目を用意した。教示内容及び質問項目を図表C3に示す。

クイズ音源の出題順序は、提示順による回答の誘導等の影響を考慮し、2種類の提示パターンを用意した。図表C1の音源を、

①A→B→C→D→E→F

②F→E→D→C→B→A

の順で、被験者に交互で出題する形で実験をおこなった。

#### C-1-5. 実験対象

実験では幼児の回答によって得られた発話データに着目していることから、言語発達等を考慮し、年長児を中心に実験を行った。対象園に通う幼稚園所属及び保育所所属である年齢5歳1ヶ月～6歳7ヶ月の幼児を対象として、年長児36名、年中児2名、計38名の幼児に音クイズを実施した。本実験に参加した幼児の年齢と人数を図表C4に示す。

#### C-2. 結果と考察

##### C-2-1. 音クイズの回答分析結果

幼児の回答内容を、“モノ”、“行為”、“場所”、“人”の4種類に分類し、クイズ音源ごとに得られた回答の分析をおこなった。幼児の性別／施設滞在時間／年齢（一年、半年）の違いに沿って区分し、回答傾

手続き	教示文
教示	ここから音が出ます。出る音が何の音か、わかったら元気にこたえてください。
出題	【提示音（約10秒）再生】
質問①	この音をきいたことがありますか？
質問②	何の音でしょう？
質問③	どこの音でしょう？
質問④	何をしている音でしょう？
質問⑤	だれといる時にきいた音でしょう？
	(※ 出題～質問⑤のくり返し)
教示	以上で音クイズはおわりです。

図表C3 音クイズ実験手続き

向の違い及び共通項の抽出を試みた。分析結果を図表C 5～10に示す。

### C-2-2. 提示音の認識傾向調査結果

提示音の性質が大きく違う傾向にあることから、音源ごとに特徴的な回答傾向が見られた。提示音源ごとの全体的な回答傾向及び幼児の性別／施設滞在時間／年齢の違いによる回答傾向の違いについて、下記に考察を行う。

#### 【A 室内オルゴール音】

##### 1) 全体

対象園ではオルゴールを流すことで「落ち着いて昼食をとる」という意味づけをしている。結果としては“場所”についての回答が多い。これは、室内オルゴール音が幼児自身に「おひるごはんをたべる場所」として印象的であり、強く場所と関連して認識されていることがあらわれた結果であると推測できる。

##### 2) 性別

男児は“人”について、女児は“行為”についての発言が多い傾向が見られた。

##### 3) 施設滞在時間

短時間滞在（幼稚園所属）の幼児は“人”についての発言が少なく、“モノ”、“場所”についての回答が多く見られた。一方で、長時間滞在（保育所所属）の幼児は“人”についての発言は多く、“モノ”についての発言がない、という結果となっている。

##### 4) 年齢（一年毎）

6歳児は“場所”についての回答が多く、“人”についての回答が少ない点が特徴的である。

##### 5) 年齢（半年毎）

6歳-6歳半児の回答では“場所”についての回答が非常に多い点が特徴的である。

#### 【B 足音】

##### 1) 全体

環境音としては認識し難い音源であったので、意味を汲み取りづらい“不明”が多い。言葉として得られた回答の中では、“モノ”と“行為”とが多く、床を踏む、という状況が認識されていた傾向が伺われる。一方で、回答の中には「花火」などのように収録音とは大きく異なる回答も見られた。これは、「ドン」という低い衝撃音についての認識が、幼児らの印象的な経験によって異なって認識されたことによるものである。

##### 2) 性別

男児は“モノ”について、女児は“人”についての回答が多い傾向が見られた。

##### 3) 施設滞在時間

長時間滞在の幼児は“人”や“行為”についての回答が多い傾向にあった。

##### 4) 年齢（一年毎）

6歳児になると様々な要素の言葉を用いて回答を行う傾向が見られた。

##### 5) 年齢（半年毎）

5歳-5歳半の幼児は“モノ”での回答のみであることにも見られるよう、偏った表現での回答傾向から年齢が上がるごとに用いられる言葉のバリエーションが広がっている。特に、“行為”と“モノ”に関する回答については顕著な増加傾向が見られる。

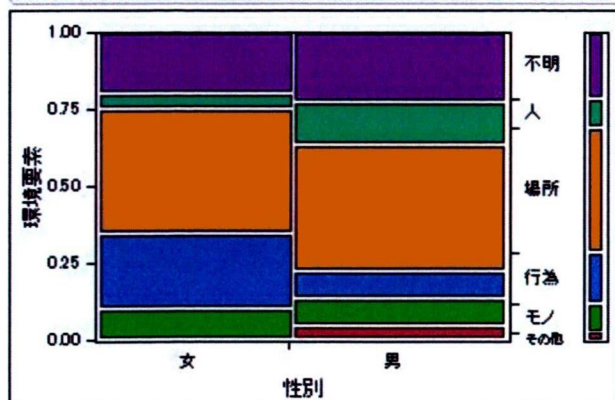
性別	5-5才半	5才半-6才	6才-6才半	6才半以上	計
男児	1 (1)	4 (2)	9 (4)	6 (1)	20 (8)
女児	1 (1)	4 (0)	12 (1)	1 (1)	18 (3)
計	2 (2)	8 (2)	21 (5)	7 (2)	38 (11)

※ ( ) 内は長時間滞在（保育所所属）園児数

図表 C 4 音クイズ被験者年齢

性別と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



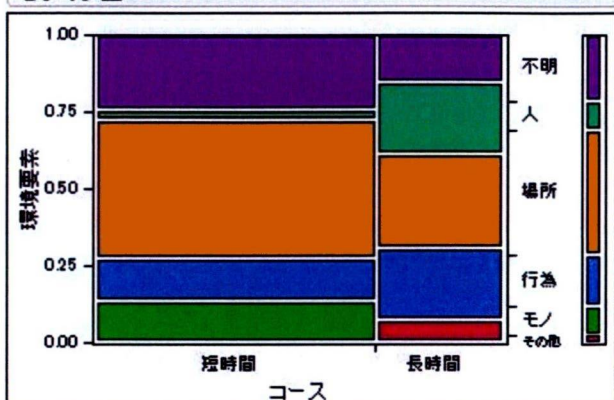
分割表

性別	度数	環境要素						不明
		その他	モノ	行為	場所	人	不明	
全体%								
列%								
行%								
女	0	2	5	8	1	4	20	
	0.00	4.76	11.90	19.05	2.38	9.52	47.62	
	0.00	50.00	71.43	47.06	25.00	44.44		
	0.00	10.00	25.00	40.00	5.00	20.00		
男	1	2	2	9	3	5	22	
	2.38	4.76	4.76	21.43	7.14	11.90	52.38	
	100.00	50.00	28.57	52.94	75.00	55.56		
	4.55	9.09	9.09	40.91	13.64	22.73		
	1	4	7	17	4	9	42	
	2.38	9.52	16.67	40.48	9.52	21.43		

性別と環境要素

コースと環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



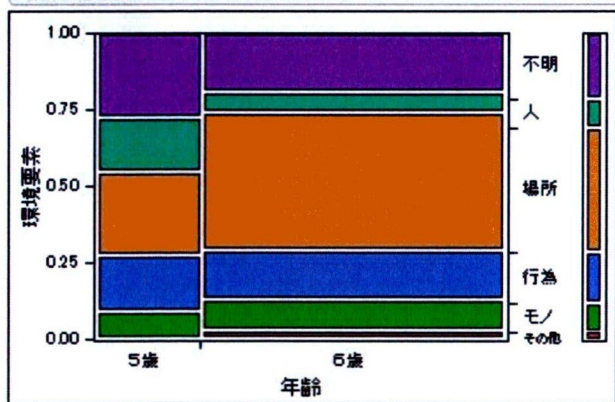
分割表

コース	度数	環境要素						不明
		その他	モノ	行為	場所	人	不明	
全体%								
列%								
行%								
短時間	0	4	4	13	1	7	29	
	0.00	9.52	9.52	30.95	2.38	16.67	69.05	
	0.00	100.00	57.14	76.47	25.00	77.78		
	0.00	13.79	13.79	44.83	3.45	24.14		
長時間	1	0	3	4	3	2	13	
	2.38	0.00	7.14	9.52	7.14	4.76	30.95	
	100.00	0.00	42.86	23.53	75.00	22.22		
	7.69	0.00	23.08	30.77	23.08	15.38		
	1	4	7	17	4	9	42	
	2.38	9.52	16.67	40.48	9.52	21.43		

所属コースと環境要素

年齢と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



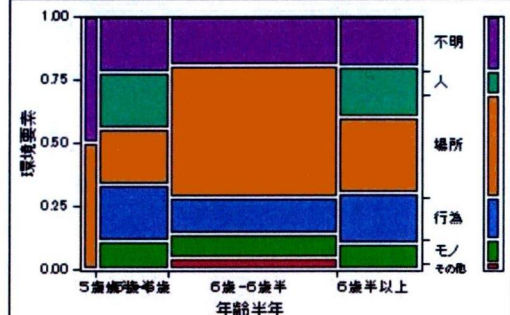
分割表

年齢	度数	環境要素						不明
		その他	モノ	行為	場所	人	不明	
全体%								
列%								
行%								
5歳	0	1	2	3	2	3	11	
	0.00	2.38	4.76	7.14	4.76	7.14	26.19	
	0.00	25.00	28.57	17.65	50.00	33.33		
	0.00	9.09	18.18	27.27	18.18	27.27		
6歳	1	3	5	14	2	6	31	
	2.38	7.14	11.90	33.33	4.76	14.29	73.81	
	100.00	75.00	71.43	82.35	50.00	66.67		
	3.23	9.68	16.13	45.16	6.45	19.35		
	1	4	7	17	4	9	42	
	2.38	9.52	16.67	40.48	9.52	21.43		

年齢（一年毎）と環境要素

年齢半年と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



分割表

年齢半年	度数	環境要素						不明
		その他	モノ	行為	場所	人	不明	
全体%								
列%								
行%								
5歳-5歳半	0	0	0	1	0	1	2	
	0.00	0.00	0.00	2.38	0.00	2.38	4.76	
	0.00	0.00	0.00	5.88	0.00	11.11		
	0.00	0.00	0.00	50.00	0.00	50.00		
5歳半-6歳	0	1	2	2	2	2	9	
	0.00	2.38	4.76	4.76	4.76	4.76	21.43	
	0.00	25.00	28.57	11.76	50.00	22.22		
	0.00	11.11	22.22	22.22	22.22	22.22		
6歳-6歳半	1	2	3	11	0	4	21	
	2.38	4.76	7.14	26.19	0.00	9.52	50.00	
	100.00	50.00	42.86	64.71	0.00	44.44		
	4.76	9.52	14.29	52.38	0.00	19.05		
6歳半以上	0	1	2	3	2	2	10	
	0.00	2.38	4.76	7.14	4.76	4.76	23.81	
	0.00	25.00	28.57	17.65	50.00	22.22		
	0.00	10.00	20.00	30.00	20.00	20.00		
	1	4	7	17	4	9	42	
	2.38	9.52	16.67	40.48	9.52	21.43		

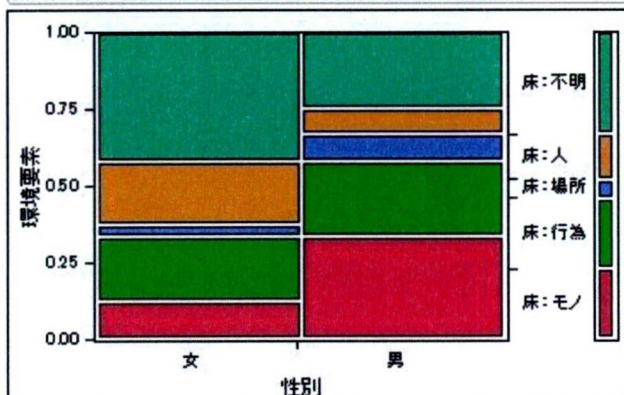
年齢（半年毎）と環境要素

図表 C 5 音クイズ回答分析結果：A 室内オルゴール音



性別と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



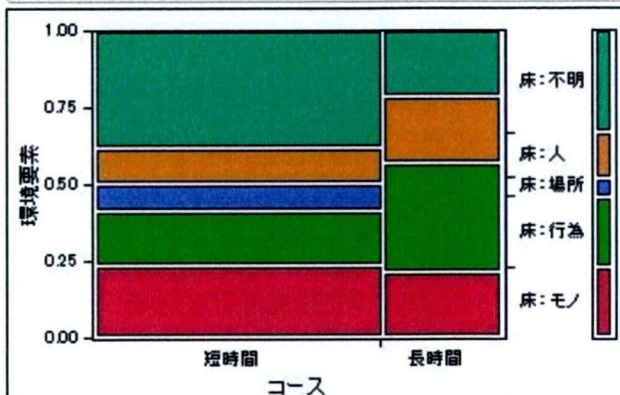
分割表

		環境要素					
		床:モノ	床:行為	床:場所	床:人	床:不明	
性別	度数						
	全体%						
女	列%	3	5	1	5	10	24
	行%	6.25	10.42	2.08	10.42	20.83	50.00
男	列%	8	6	2	2	6	24
	行%	16.67	12.50	4.17	4.17	12.50	50.00
合計		11	11	3	7	16	48
全体%		22.92	22.92	6.25	14.58	33.33	

性別と環境要素

コースと環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



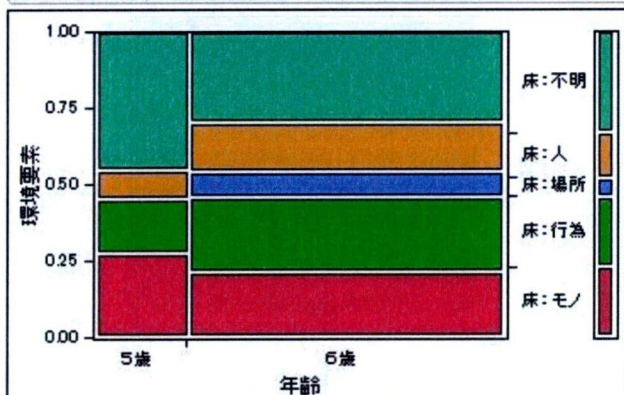
分割表

		環境要素					
		床:モノ	床:行為	床:場所	床:人	床:不明	
コース	度数						
	全体%						
短時間	列%	8	6	3	4	13	34
	行%	16.67	12.50	6.25	8.33	27.08	70.83
長時間	列%	3	5	0	3	3	14
	行%	6.25	10.42	0.00	6.25	6.25	29.17
合計		11	11	3	7	16	48
全体%		22.92	22.92	6.25	14.58	33.33	

所属コースと環境要素

年齢と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



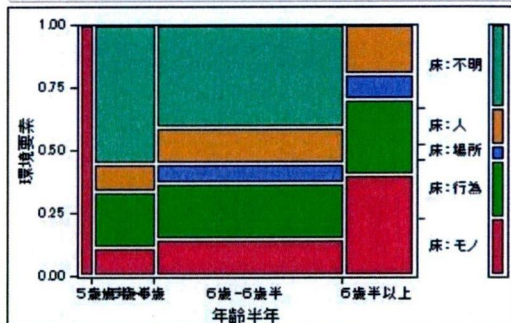
分割表

		環境要素					
		床:モノ	床:行為	床:場所	床:人	床:不明	
年齢	度数						
	全体%						
5歳	列%	3	2	0	1	5	11
	行%	6.25	4.17	0.00	2.08	10.42	22.92
6歳	列%	8	9	3	6	11	37
	行%	16.67	18.75	6.25	12.50	22.92	77.08
合計		11	11	3	7	16	48
全体%		22.92	22.92	6.25	14.58	33.33	

年齢（一年毎）と環境要素

年齢半年と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



分割表

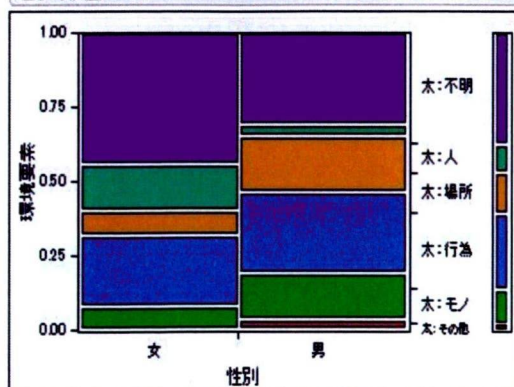
		環境要素					
		床:モノ	床:行為	床:場所	床:人	床:不明	
年齢半年	度数						
	全体%						
5歳-5歳半	列%	2	0	0	0	0	2
	行%	4.17	0.00	0.00	0.00	0.00	4.17
5歳半-6歳	列%	1	2	0	1	5	9
	行%	2.08	4.17	0.00	2.08	10.42	18.75
6歳-6歳半	列%	4	6	2	4	11	27
	行%	8.33	12.50	4.17	8.33	22.92	56.25
6歳半以上	列%	4	3	1	2	0	10
	行%	8.33	6.25	2.08	4.17	0.00	20.83
合計		11	11	3	7	16	48
全体%		22.92	22.92	6.25	14.58	33.33	

年齢（半年毎）と環境要素

図表 C 6 音クイズ回答分析結果：B 足音

性別と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



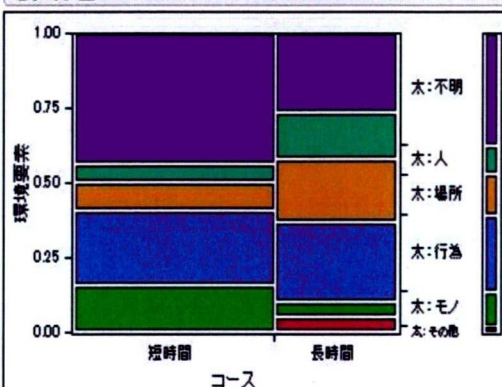
分割表

		環境要素						
		太:その他	太:モノ	太:行為	太:場所	太:人	太:不明	
性別	全体%							
	列%							
性別	行%							
	女	0	2	6	2	4	11	25
		0.00	3.92	11.76	3.92	7.84	21.57	49.02
		0.00	33.33	46.15	28.57	80.00	57.89	
		0.00	8.00	24.00	8.00	16.00	44.00	
性別	男	1	4	7	5	1	8	26
		1.96	7.84	13.73	9.80	1.96	15.69	50.98
		100.00	66.67	53.85	71.43	20.00	42.11	
		3.85	15.38	26.92	19.23	3.85	30.77	
		1	6	13	7	5	19	51
		1.96	11.76	25.49	13.73	9.80	37.25	

性別と環境要素

コースと環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



分割表

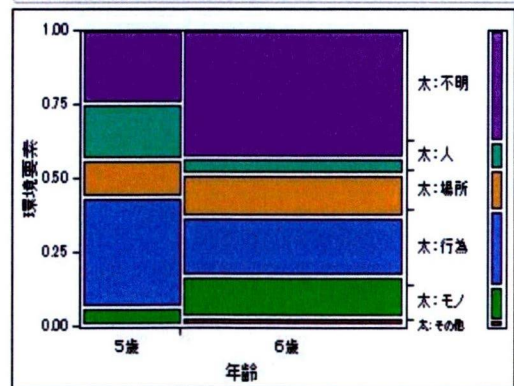
		環境要素						
		太:その他	太:モノ	太:行為	太:場所	太:人	太:不明	
コース	全体%							
	列%							
コース	行%							
	短時間	0	5	8	3	2	14	32
		0.00	9.80	15.69	5.88	3.92	27.45	62.75
		0.00	83.33	61.54	42.86	40.00	73.68	
		0.00	15.63	25.00	9.38	6.25	43.75	
コース	長時間	1	1	5	4	3	5	19
		1.96	1.96	9.80	7.84	5.88	9.80	37.25
		100.00	16.67	38.46	57.14	60.00	26.32	
		5.26	5.26	26.32	21.05	15.79	26.32	
		1	6	13	7	5	19	51
		1.96	11.76	25.49	13.73	9.80	37.25	

所属コースと環境要素

年齢と環境要素の分割表に対する分析

年齢と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



分割表

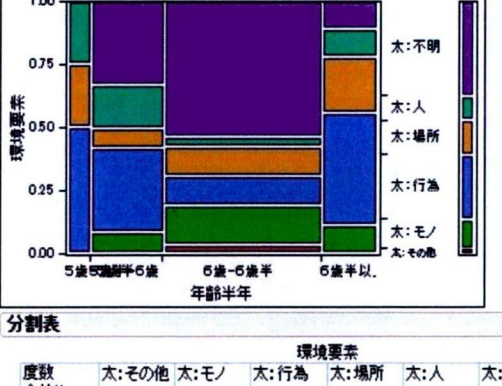
		環境要素						
		太:その他	太:モノ	太:行為	太:場所	太:人	太:不明	
年齢	全体%							
	列%							
年齢	行%							
	5歳	0	1	6	2	3	4	16
		0.00	1.96	11.76	3.92	5.88	7.84	31.37
		0.00	16.67	46.15	28.57	60.00	21.05	
		0.00	6.25	37.50	12.50	18.75	25.00	
年齢	6歳	1	5	7	5	2	15	35
		1.96	9.80	13.73	9.80	3.92	29.41	68.63
		100.00	83.33	53.85	71.43	40.00	78.95	
		2.86	14.29	20.00	14.29	5.71	42.86	
		1	6	13	7	5	19	51
		1.96	11.76	25.49	13.73	9.80	37.25	

年齢（一年毎）と環境要素

図表 C 7 音クイズ回答分析結果：C 遊戯室の音

年齢と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



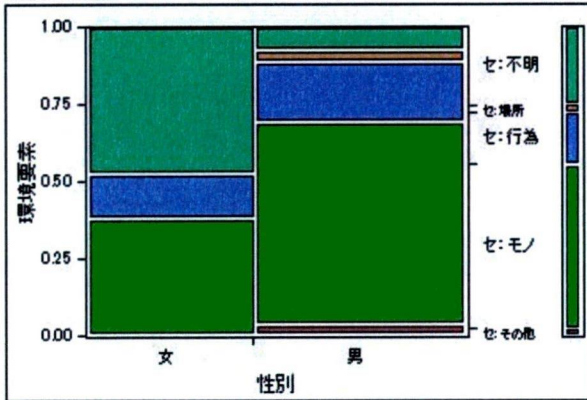
分割表

		環境要素						
		太:その他	太:モノ	太:行為	太:場所	太:人	太:不明	
年齢	全体%							
	列%							
年齢	行%							
	5歳-5歳半	0	0	2	1	1	0	4
		0.00	0.00	3.92	1.96	1.96	0.00	7.84
		0.00	0.00	15.38	14.29	20.00	0.00	
		0.00	0.00	50.00	25.00	25.00	0.00	
年齢	5歳半-6歳	0	1	4	1	2	4	12
		0.00	1.96	7.84	1.96	3.92	7.84	23.53
		0.00	16.67	30.77	14.29	40.00	21.05	
		0.00	8.33	33.33	8.33	16.67	33.33	
年齢	6歳-6歳半	1	4	3	3	1	14	26
		1.96	7.84	5.88	5.88	1.96	27.45	50.98
		100.00	66.67	23.08	42.86	20.00	73.68	
		3.85	15.38	11.54	11.54	3.85	53.85	
年齢	6歳半以上	0	1	4	2	1	1	9
		0.00	1.96	7.84	3.92	1.96	1.96	17.65
		0.00	16.67	30.77	28.57	20.00	5.26	
		0.00	11.11	44.44	22.22	11.11	11.11	
		1	6	13	7	5	19	51
		1.96	11.76	25.49	13.73	9.80	37.25	

年齢（半年毎）と環境要素

性別と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



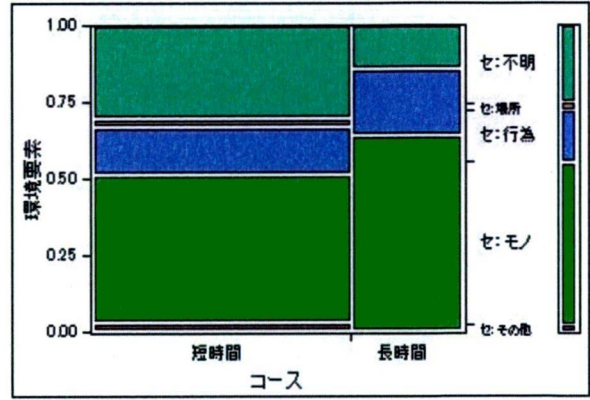
分割表

性別	環境要素					度数 全体%
	セ:その他	セ:モノ	セ:行為	セ:場所	セ:不明	
女	0	8	3	0	10	21
	0.00	17.02	6.38	0.00	21.28	44.68
	0.00	32.00	37.50	0.00	83.33	
	0.00	38.10	14.29	0.00	47.62	
男	1	17	5	1	2	26
	2.13	36.17	10.64	2.13	4.26	55.32
	100.00	68.00	62.50	100.00	16.67	
	3.85	65.38	19.23	3.85	7.69	
	1	25	8	1	12	47
	2.13	53.19	17.02	2.13	25.53	

性別と環境要素

コースと環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



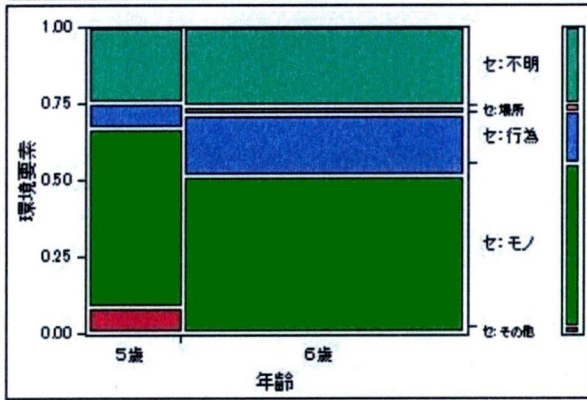
分割表

コース	環境要素					度数 全体%
	セ:その他	セ:モノ	セ:行為	セ:場所	セ:不明	
短時間	1	16	5	1	10	33
	2.13	34.04	10.64	2.13	21.28	70.21
	100.00	64.00	62.50	100.00	83.33	
	3.03	48.48	15.15	3.03	30.30	
長時間	0	9	3	0	2	14
	0.00	19.15	6.38	0.00	4.26	29.79
	0.00	36.00	37.50	0.00	16.67	
	0.00	64.29	21.43	0.00	14.29	
	1	25	8	1	12	47
	2.13	53.19	17.02	2.13	25.53	

所属コースと環境要素

年齢と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



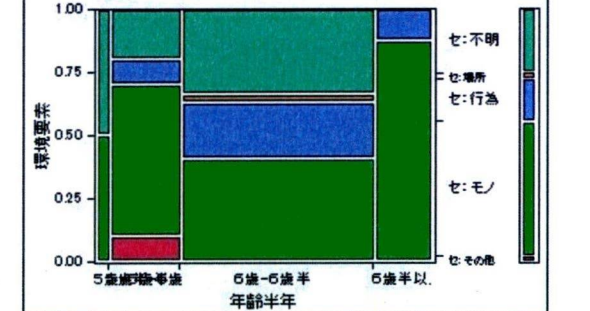
分割表

年齢	環境要素					度数 全体%
	セ:その他	セ:モノ	セ:行為	セ:場所	セ:不明	
5歳	1	7	1	0	3	12
	2.13	14.89	2.13	0.00	6.38	25.53
	100.00	28.00	12.50	0.00	25.00	
	8.33	58.33	8.33	0.00	25.00	
6歳	0	18	7	1	9	35
	0.00	38.30	14.89	2.13	19.15	74.47
	0.00	72.00	87.50	100.00	75.00	
	0.00	51.43	20.00	2.86	25.71	
	1	25	8	1	12	47
	2.13	53.19	17.02	2.13	25.53	

年齢 (一年毎) と環境要素

年齢半年と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



分割表

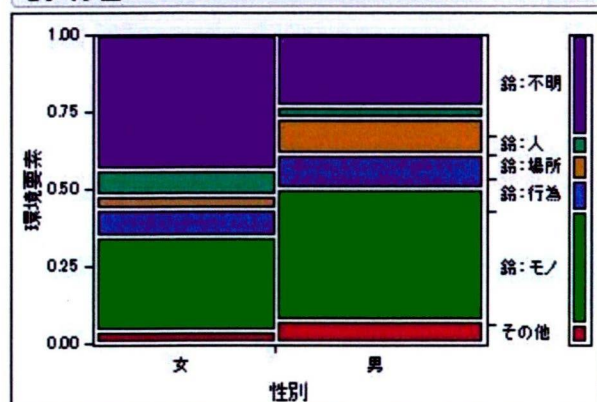
年齢半年	環境要素					度数 全体%
	セ:その他	セ:モノ	セ:行為	セ:場所	セ:不明	
5歳-5歳半	0	1	0	0	1	2
	0.00	2.13	0.00	0.00	2.13	4.26
	0.00	4.00	0.00	0.00	8.33	
	0.00	50.00	0.00	0.00	50.00	
5歳半-6歳	1	6	1	0	2	10
	2.13	12.77	2.13	0.00	4.26	21.28
	100.00	24.00	12.50	0.00	16.67	
	10.00	60.00	10.00	0.00	20.00	
6歳-6歳半	0	11	6	1	9	27
	0.00	23.40	12.77	2.13	19.15	57.45
	0.00	44.00	75.00	100.00	75.00	
	0.00	40.74	22.22	3.70	33.33	
6歳半以上	0	7	1	0	0	8
	0.00	14.89	2.13	0.00	0.00	17.02
	0.00	28.00	12.50	0.00	0.00	
	0.00	87.50	12.50	0.00	0.00	
	1	25	8	1	12	47
	2.13	53.19	17.02	2.13	25.53	

年齢 (半年毎) と環境要素

図表 C 8 音クイズ回答分析結果：D セロハンテープを千切る音

性別と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



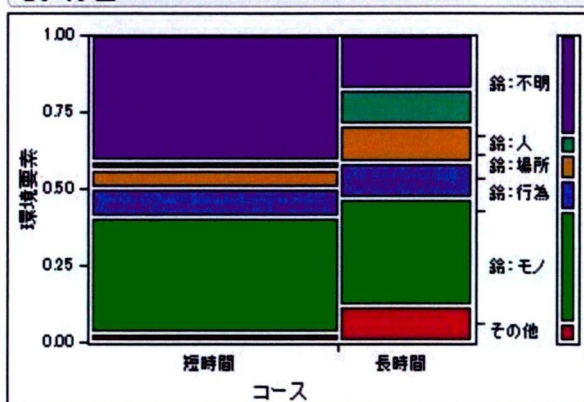
分割表

		環境要素						
		その他	鈴:モノ	鈴:行為	鈴:場所	鈴:人	鈴:不明	
性別	全体%							
	列%							
女	行%	1	7	2	1	2	10	23
	度	2.04	14.29	4.08	2.04	4.08	20.41	46.94
	数	33.33	38.89	40.00	25.00	66.67	62.50	
	列	4.35	30.43	8.70	4.35	8.70	43.48	
	行	2	11	3	3	1	6	26
	度	4.08	22.45	6.12	6.12	2.04	12.24	53.06
男	数	66.67	61.11	60.00	75.00	33.33	37.50	
	列	7.69	42.31	11.54	11.54	3.85	23.08	
	行	3	18	5	4	3	16	49
	度	6.12	36.73	10.20	8.16	6.12	32.65	
	列							
	行							

性別と環境要素

コースと環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



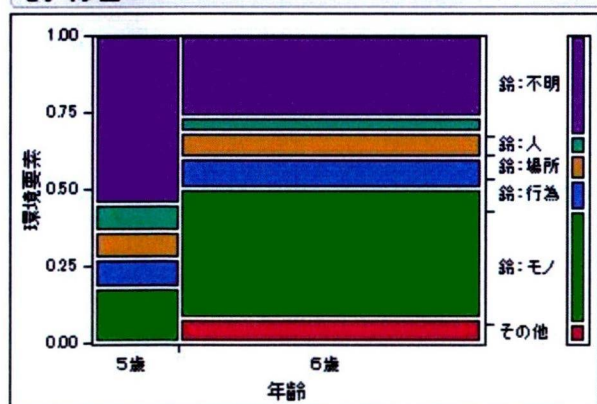
分割表

		環境要素						
		その他	鈴:モノ	鈴:行為	鈴:場所	鈴:人	鈴:不明	
コース	全体%							
	列%							
短時間	行%	1	12	3	2	1	13	32
	度	2.04	24.49	6.12	4.08	2.04	26.53	65.31
	数	33.33	66.67	60.00	50.00	33.33	81.25	
	列	3.13	37.50	9.38	6.25	3.13	40.63	
	行	2	6	2	2	2	3	17
	度	4.08	12.24	4.08	4.08	4.08	6.12	34.69
長時間	数	66.67	33.33	40.00	50.00	66.67	18.75	
	列	11.76	35.29	11.76	11.76	11.76	17.65	
	行	3	18	5	4	3	16	49
	度	6.12	36.73	10.20	8.16	6.12	32.65	
	列							
	行							

所属コースと環境要素

年齢と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



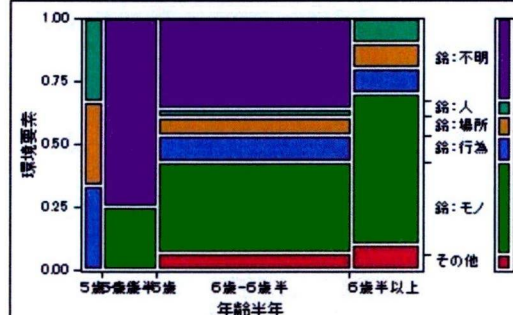
分割表

		環境要素						
		その他	鈴:モノ	鈴:行為	鈴:場所	鈴:人	鈴:不明	
年齢	全体%							
	列%							
5歳	行%	0	2	1	1	1	6	11
	度	0.00	4.08	2.04	2.04	2.04	12.24	22.45
	数	0.00	11.11	20.00	25.00	33.33	37.50	
	列	0.00	18.18	9.09	9.09	9.09	54.55	
	行	3	16	4	3	2	10	38
	度	6.12	32.65	8.16	6.12	4.08	20.41	77.55
6歳	数	100.00	88.89	80.00	75.00	66.67	62.50	
	列	7.89	42.11	10.53	7.89	5.26	26.32	
	行	3	18	5	4	3	16	49
	度	6.12	36.73	10.20	8.16	6.12	32.65	
	列							
	行							

年齢（一年毎）と環境要素

年齢半年と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



分割表

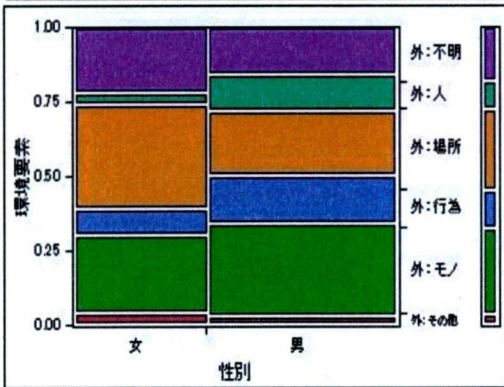
		環境要素						
		その他	鈴:モノ	鈴:行為	鈴:場所	鈴:人	鈴:不明	
年齢半年	全体%							
	列%							
5歳-5歳半	行%	0	0	1	1	1	0	3
	度	0.00	0.00	2.04	2.04	2.04	0.00	6.12
	数	0.00	0.00	20.00	25.00	33.33	0.00	
	列	0.00	0.00	33.33	33.33	33.33	0.00	
	行	0	2	0	0	0	6	8
	度	0.00	4.08	0.00	0.00	0.00	12.24	16.33
5歳半-6歳	数	0.00	11.11	0.00	0.00	0.00	37.50	
	列	0.00	25.00	0.00	0.00	0.00	75.00	
	行	2	10	3	2	1	10	28
	度	4.08	20.41	6.12	4.08	2.04	20.41	57.14
	数	66.67	55.56	60.00	50.00	33.33	62.50	
	列	7.14	35.71	10.71	7.14	3.57	35.71	
6歳半以上	行	1	6	1	1	1	0	10
	度	2.04	12.24	2.04	2.04	2.04	0.00	20.41
	数	33.33	33.33	20.00	25.00	33.33	0.00	
	列	10.00	60.00	10.00	10.00	10.00	0.00	
	行	3	18	5	4	3	16	49
	度	6.12	36.73	10.20	8.16	6.12	32.65	

年齢（半年毎）と環境要素

図表 C 9 音クイズ回答分析結果：E 風鈴の音

性別と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図

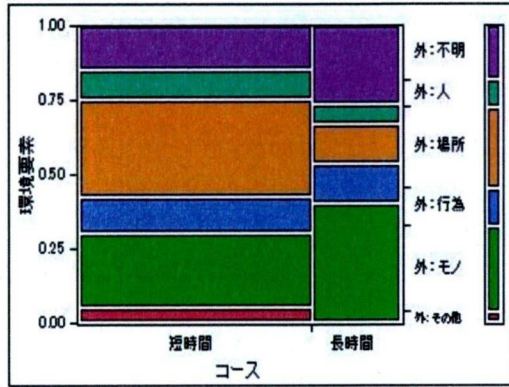


分割表

		環境要素						
		外:その他	外:モノ	外:行為	外:場所	外:人	外:不明	
性別	全体%							
	列%							
	行%							
女	1	6	2	8	1	5	23	
	1.82	10.91	3.64	14.55	1.82	9.09	41.82	
	50.00	37.50	28.57	53.33	20.00	50.00		
男	4.35	26.09	8.70	34.78	4.35	21.74		
	1	10	5	7	4	5	32	
	1.82	18.18	9.09	12.73	7.27	9.09	58.18	
全体	50.00	62.50	71.43	46.67	80.00	50.00		
	3.13	31.25	15.63	21.88	12.50	15.63		
	2	16	7	15	5	10	55	
全体	3.64	29.09	12.73	27.27	9.09	18.18		

コースと環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



分割表

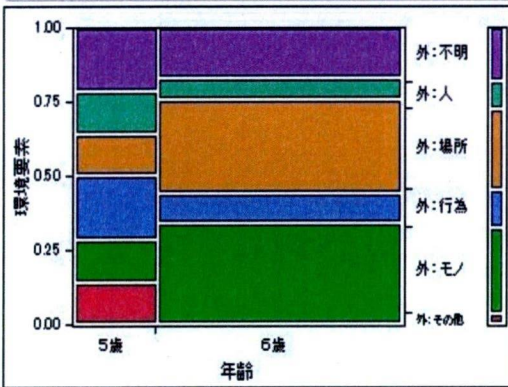
		環境要素						
		外:その他	外:モノ	外:行為	外:場所	外:人	外:不明	
コース	全体%							
	列%							
	行%							
短時間	2	10	5	13	4	6	40	
	3.64	18.18	9.09	23.64	7.27	10.91	72.73	
	100.00	62.50	71.43	86.67	80.00	60.00		
長時間	5.00	25.00	12.50	32.50	10.00	15.00		
	0	6	2	2	1	4	15	
	0.00	10.91	3.64	3.64	1.82	7.27	27.27	
全体	0.00	37.50	28.57	13.33	20.00	40.00		
	0.00	40.00	13.33	13.33	6.67	26.67		
	2	16	7	15	5	10	55	
全体	3.64	29.09	12.73	27.27	9.09	18.18		

性別と環境要素

所属コースと環境要素

年齢と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図

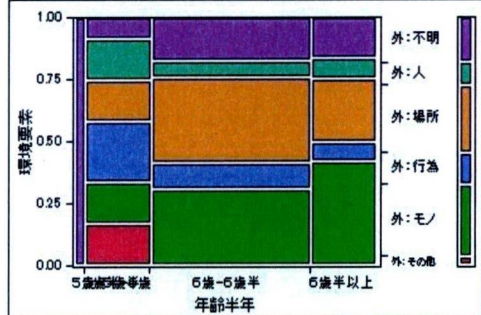


分割表

		環境要素						
		外:その他	外:モノ	外:行為	外:場所	外:人	外:不明	
年齢	全体%							
	列%							
	行%							
5歳	2	2	3	2	2	3	14	
	3.64	3.64	5.45	3.64	3.64	5.45	25.45	
	100.00	12.50	42.86	13.33	40.00	30.00		
6歳	14.29	14.29	21.43	14.29	14.29	21.43		
	0	14	4	13	3	7	41	
	0.00	25.45	7.27	23.64	5.45	12.73	74.55	
全体	0.00	87.50	57.14	86.67	60.00	70.00		
	0.00	34.15	9.76	31.71	7.32	17.07		
	2	16	7	15	5	10	55	
全体	3.64	29.09	12.73	27.27	9.09	18.18		

年齢半年と環境要素の分割表に対する分析

モザイク図



分割表

		環境要素						
		外:その他	外:モノ	外:行為	外:場所	外:人	外:不明	
年齢半年	全体%							
	列%							
	行%							
5歳未満半年	0	0	0	0	0	0	2	
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.64	
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	20.00	
5歳-5歳半	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	
	2	2	3	2	2	1	12	
	3.64	3.64	5.45	3.64	3.64	1.82	21.82	
5歳半-6歳	100.00	12.50	42.86	13.33	40.00	10.00		
	16.67	16.67	25.00	16.67	16.67	8.33		
	0	9	3	10	2	5	29	
6歳-6歳半	0.00	16.36	5.45	18.18	3.64	9.09	52.73	
	0.00	56.25	42.86	66.67	40.00	50.00		
	0.00	31.03	10.34	34.48	6.90	17.24		
6歳半以上	0	5	1	3	1	2		
	0.00	9.09	1.82	5.45	1.82	3.64	21.82	
	0.00	31.25	14.29	20.00	20.00	20.00		
全体	0.00	41.67	8.33	25.00	8.33	16.67		
	2	16	7	15	5	10	55	
	3.64	29.09	12.73	27.27	9.09	18.18		

年齢(一年毎)と環境要素

年齢(半年毎)と環境要素

図表 C 10 音クイズ回答分析結果：F 屋外オルゴール音

## 【C 遊戯室の音】

### 1) 全体

収録音源は、室内自由あそび時の音源であり、特徴的な物音が発する場ではないので、音だけでその状況を認識することは非常に難しい。その結果、回答内容のぼらつきや、“不明”の多さとして分析結果にあらわれている。収録音は「人が何らかの活動をおこなっている」ことを示唆しているので、結果として“行為”についての回答が多くみられた。

### 2) 性別

男児は“場所”や“行為”に関する回答が、女児は“人”に関する回答が多い。

### 3) 施設滞在時間

短時間滞在の幼児には“モノ”の発言が多く、長時間滞在の幼児は“人”の回答が多い。また、短時間滞在では意味を汲み取りづらい表現が多い傾向が見られた。

### 4) 年齢（一年毎）

5歳児は“行為”についての回答が多いが、6歳児は“不明”の多さに見られるよう、曖昧な回答が多い。

### 5) 年齢（半年毎）

6歳半以上では具体的な回答が多く、音源からは推測し難い“場所”についての回答が多い点の特徴的である。6歳－6歳半では他と比較して“行為”についての回答が少なく、“モノ”についての回答や“不明”が多い点の特徴的である。

## 【D セロハンテープを千切る音】

### 1) 全体

実験者によって作成された音源で、実環境での音とは異なるものの、幼児の正答率も極めて高く、“モノ”や“行為”といった言葉として具体的な回答が多く得られた。実際の環境における音の中でも、他の音と比較して物理的指標である音圧レベルで測定された値以上に幼児にとっては印象的な音であることが推測される。制作のコーナーで自分自身の行為によって発せられた音として、大

人が感じる以上に強く認識されていることが示唆された。

### 2) 性別

男児のみ“場所”の回答が見られたが、全般的に大きな差異は見られない。

### 3) 施設滞在時間

短時間滞在の幼児には“場所”の発言が見られたが、大きな差は見られない。また、長時間滞在の幼児の方が“不明”が少なく、“モノ”での回答が多いことに挙げられることから、具体的に回答しようとする傾向が見られた。

### 4) 年齢（一年毎）

大きな違いは見られないが、6歳児になると発話のバリエーションが増える傾向が見られた。

### 5) 年齢（半年毎）

6歳半以上は“モノ”での回答が多い傾向が見られる。5歳－5歳半だと回答のバリエーションが少ない。

## 【E 風鈴の音】

### 1) 全体

対象としていた音源が人間の活動とは直接的にかかわりのない風鈴であるので、幼児の回答にも“モノ”が多く見られた。また、園では類似した音として鉄琴の音のなる玩具が置かれていることもあり、季節的な意味づけとしての「風鈴」という回答は少なかった。“不明”が多い傾向となったのは、実環境での収録音源なので、主に対象とした風鈴の音以外の周辺環境の音が多く含まれていたことによると考えられる。

### 2) 性別

全般的に大きな差異は見られない。

### 3) 施設滞在時間

短時間滞在の幼児には“不明”の発言が多く、長時間滞在の幼児は“人”の回答が多い傾向が見られた。

### 4) 年齢（一年毎）

5歳児は“不明”の回答が多いことに見られるよう、曖昧な回答が多い。同時に、他の要因の回答

が少ないことから、語彙のバリエーションが少ないことが伺われる。

#### 5) 年齢 (半年毎)

年齢が上がるにつれて、“不明”に分類されている分かりづらい表現の減少傾向と“モノ”に関する回答の増加傾向が見られる。また、回答された言葉の種類も“人”、“モノ”、“場所”、とバリエーションに富んでいる。半年毎に分類してみても顕著なように、5歳と6歳とでは大きな違いがあると考えられる。

### 【F 野外オルゴール音】

#### 1) 全体

対象園では園庭でのオルゴール音を「食事当番が準備をはじめる合図」として用いている。回答結果には、そのねらい通りに認識されている回答も数名得られ、幼児にとって印象的であることが推測される。“場所”についての回答の多さ等、A室内オルゴール音と似た傾向がある一方で、“モノ”の回答も多い傾向が特徴的である。

#### 2) 性別

男児の方が“人”、“モノ”に関する回答が、女児は“場所”についての回答が多い傾向があるが、全体的にはあまり差がない。

#### 3) 施設滞在時間

短時間滞在の幼児には“場所”の回答が、長時間滞在の幼児は“モノ”の回答が多い傾向が見られた。

#### 4) 年齢 (一年毎)

6歳児は“場所”や“モノ”についての回答が多く、“人”や“行為”についての回答は少ない。

#### 5) 年齢 (半年毎)

年齢が上がるにつれて、“モノ”や“場所”についての回答が多くなる傾向がある。

### C-2-3. 考察

前節で示した個々の音源についての分析結果をふまえて、幼児の音環境認識について、3つの観点から総括して以下に述べる。

### 【年齢による違い】

◇5歳児と6歳児との間に、“モノ”についての回答傾向に大きな差がある。6歳児からは“モノ”といった具体的な言葉を用いた回答が増える傾向が示唆された。

⇒幼児期は言語能力の獲得段階であるが、語彙の使い方の変化等から特に5歳と6歳の間には大きな違いがあることが確認された。よって、言語発達の面からも5～6歳間は大きく発達する段階であることが推測される。

◇5歳児と6歳児との違いとして、さらに詳細に調べるために半年ごとに区切って分析した回答の傾向を分析すると、年齢が上がるにつれて回答に用いる言葉の種類が増え、より具体的な表現方法になる。

⇒幼児は、半年単位であっても言語能力等の表現力の発達が著しく、回答傾向が大きく異なること、具体的には用いる語彙の増加や、単語ではなく文章で状況を説明するように変化する、といった発達過程が見受けられる。また、具体的な回答内容からは、音に対する幼児の認識も発達に伴って変化すること、例えば保育施設において教諭が規則性等のある意味を持たせて発している音を、その意味づけとともに認識されていることが確認された。これは、園のねらった教育効果が現れていることを示唆している。

### 【性別による違い】

◇男児は“モノ”に分類される具体的な言葉、または“その他”(分類できない抽象的な回答)に分類される曖昧な回答が、女子は“人”など状況について説明するような回答や、“不明”(回答無し)とされた回答が多い。

⇒男児は直感的に具体的な物の名前を用いて回答しようとする傾向が見られた。一方で、女児は人や行為についての回答が多く、音の発せられる活動場面に関してその状況を説明しようとする傾向が見受けられた。

## 【施設滞在時間による違い】

◇長時間滞在の幼児の方が、“人”や“行為”といったある場面の活動を動的に説明する傾向が強く、短時間滞在の幼児の方が“場所”や“モノ”などの動きの要素の少ない定常的な言葉を用いる傾向が強い。

⇒滞在時間が長時間の幼児のほうが様々な状況で人と関わる中で多彩な状況に面しているので、人的要素を含んだ場面を説明するような回答である傾向が強いと推測される。

以上に述べたように、幼児の年齢や性別、施設滞在時間によって音環境の認識の仕方が異なる傾向にあることが示唆された。幼児の環境認識の発達には幼児の過ごす環境の影響が大きく、教育的観点からも幼児施設の環境が与える影響は極めて大きいことが指摘できる。

## D. まとめ

保育施設における幼児の音環境認識の調査をおこなった結果、幼児の回答した言葉の大半は“モノ”、“人”、“場所”、“行為”の4つに分類できることから、音に対する認識は、その状況とともに認識されていることが示唆された。施設での音環境は、音刺激としてのみ認識されているのではなく、ある状況（場面）における音、として意味付けされて認識されていると推察できる。

音に対する回答の仕方としては、音源の名前を当てようとするのではなく、その音を聞いた状況を口述する傾向が見られたことから、幼児は環境全体の中からある要因、例えば本研究における音要因のみを抽出しているのではなく、空間のあらゆる要因を包括的に捉えて認識していることが示唆された。

また、音クイズ実施時において、幼児は自分自身の身近にある音について、より確信的に回答する傾向が見られた。提示音では「D セロハンテープを千切る音」がそれにあたり、自身の活動に伴って発生した音についてより印象的に認識していることが推測される。

以上に述べた点から、例えば音環境に着目した教育環境づくりとしての取り組みを行う時には、①実施環境として他の環境因にも同様に配慮すること、②意味づけをおこなうこと、③大人とは異なった視点を持って幼児の身近での音環境に配慮すること、等が重要であるといえる。

心身ともに発達過程にある幼児にとって、発育環境は非常に重要な要因である。多くの幼児が生育の場としてふれあう保育施設が担う役割は大きく、後の成長に著しい影響を与えることを考慮すると、人的環境、物的環境の各々の面から包括的に環境づくりに取り組むことが重要である。

今後は、年齢などの発達に応じた音認識の獲得過程を調査する方法を検討し、保育施設において実践的に取り入れられる教育環境づくりを音環境の側面から提案してゆく所存である。

## 参考文献

- 1) 関沢勝一、佐藤直樹：乳幼児保育施設と音環境、音響技術、Vol.27, No.3, 通号 103, pp.9-11, 1998.9
- 2) 志村洋子、藤井弘義、他：幼稚園・保育所における保育室内の音環境(1)～(9)、音響学会講演論文集、1996～2003
- 3) 野口紗生、小西雅、及川靖広、山崎芳男：幼稚園における幼児の学習活動と音の響きとのかかわりに着目した音環境の把握、日本音響学会建築音響研究会資料、AA2009-27, 2009.4



## 保育者と幼児からみたコーナー保育環境の評価に関する研究

協力研究者：白石雄貴(早稲田大学人間科学部 学部生)

代表研究者：佐藤将之(早稲田大学人間科学学術院 助教)

本稿では、認定こども園において保育者と幼児とを対象とし、機能や目的から名付けた場所の名前(コーナー)に関するアンケート・ヒアリング調査から、利用者の視点からみた保育環境の評価を明らかにしている。物理的環境に関する評価としては、学齢が上がると共に道具から場所に対する関心が大きくなっていくことが、人的環境に関する評価としては、先生がいる場所から「友達」がいる場所に関する関心が大きくなっていくことが明らかになった。学齢が上がるにつれてコーナーの部分からコーナー全体に関する評価項目が挙げられるようになることがわかった。

### A. 研究目的

子どもが遊び場所である空間を選択する際の、影響要因は様々な領域で研究されてきた。

従来、こどもと空間の関わりに関する心理学の研究は、条件統制された実験から導かれる、子どもの空間認知能力の発達を調べるものが主流であった。実験を中心とした研究方法は、発達段階により異なる子どもの特定の性質に着眼して、外部要素を排除する傾向がある。環境心理学においては、質的な議論として、フィールドワークを主体とした研究も進められているが、実際の場所づくりに応用できる研究は稀で、本研究の場所づくりとしての参与はさらに確立されるべき立場である。

建築学の観点から保育施設を捉えると保育施設の環境を参照する資料として「建築設計資料集成 教育編」がある。そこには、11個の幼稚園の図面が紹介されているが、具体的な家具配置が表現されているものは1つである。全体的な空間の構成と計画は、図面から推し量ることは可能であるが、利用者が空間全体や細かな設えをどのように設置しているか、また、その空間

をどのように評価しているかを知るための資料は見受けられなかった。

保育・教育側の観点から考えると、保育の場面や行為をケーススタディーとして、研究しているものは多く見受けられるが、子どもが環境を選択する観点で行われた研究は見当たらない。

本研究の意義は、保育施設における子どもと環境の関わりを、現場で働く保育者や幼児の視点を捉えようとアプローチをすることで、現場に則して、幼児と環境の関わりを解釈しようとしたことである。「環境」を物理的環境の側面からだけでなく、人的環境や施設運営側の教育上のねらいなど、単一の要因ではなくて複数の環境要因にも目を向けて、子どもと空間の関わりを考察することで、保育施設における空間の意味や価値を明らかにすることが本研究の目指すものである。

幼稚園・保育園において、恒常的に子どもが自ら遊び場所を選択できる事例は少ない。本稿では、園児が場所を選択する時の環境要因について保育士と園児の視点から分析考察を行い、子どもが環境を選択する際の影響を明らかにすることを目的とする。

## B. 調査・分析概要

### B. 1 調査対象施設の概要

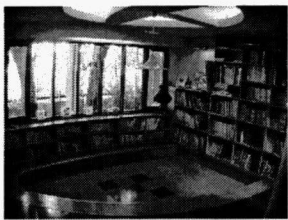
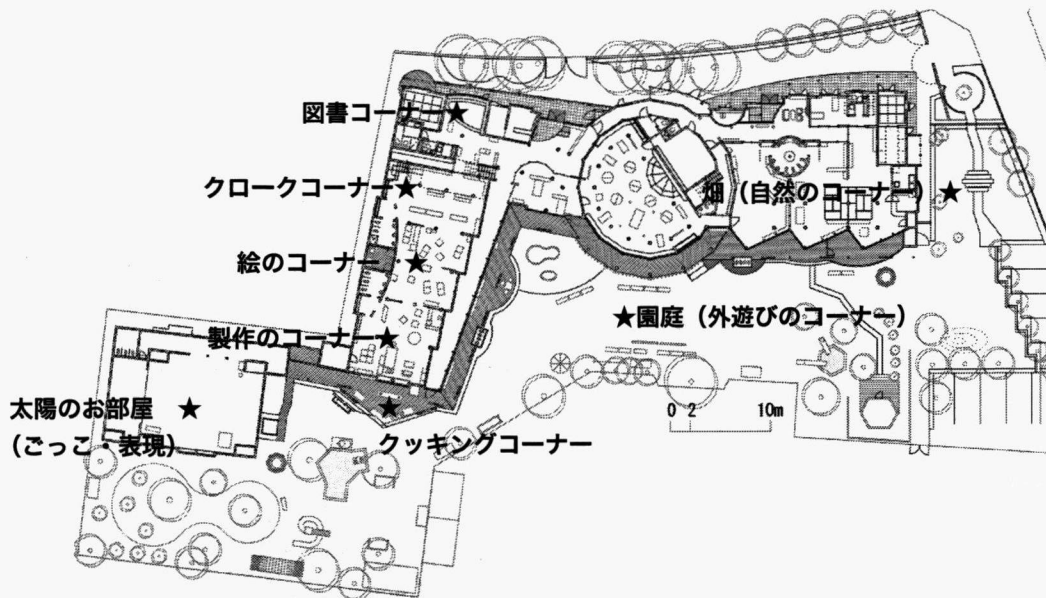
調査対象として、幼保一体型の「認定こども園 こどものもり」(幼・保それぞれの名称は「学校法人若森学園 まつぶし幼稚園」および「社会福祉法人桜福祉会 こどもの森幼稚園」)を選定した。

園児数は、保育園で満3歳児未満が25名、3,4,5歳児が38名(計63名)、幼稚園で3,4,5歳児が113名である。

この施設の特徴として、異年齢保育システムとコーナー保育システムの採用があげられる。異年齢保育の採用によって年少から年長の子どもが同じコース(ク

ラス)に分けられ生活をしている。また、コーナーを園内各所に配置し、異なる年齢の園児が利用できるようにすることで、子どもは園舎全体を自由に行き来して、園児が異年齢で交わりながら、自主的に遊びを展開することができる。

こどものもりで設置しているコーナーは、図書コーナー、クロークコーナー、絵のコーナー、造形(制作)のコーナー、ごっここのコーナー(太陽のお部屋)、表現のコーナー、外遊びのコーナー、飼育・栽培のコーナー(自然のコーナー)、クッキングコーナー(自然のコーナー)の9カ所である。(図表B1)



図書コーナー



クロークコーナー



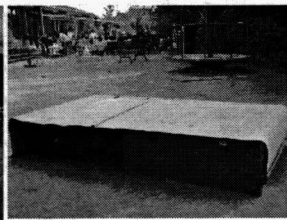
絵のコーナー



クロークコーナー



ごっここのコーナー



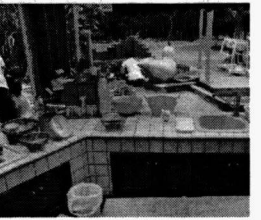
表現のコーナー



外遊びのコーナー



飼育・栽培のコーナー



クッキングコーナー

図表 B 1 調査対象施設の配置図および各コーナー

## B. 2 調査方法

コーナー保育における子どもの場所選択の影響要因を調べるために2つの調査を行った。

調査Ⅰでは、環境の設計者である保育者を対象に、定型自由記述式のアンケートを行った。そこで保育施設のコーナーの空間自体や遊具や道具等の環境が子どもにとって、どのように影響を及ぼすと考えているかを調査した。調査Ⅱでは、園内の幼稚園児3歳～6歳児を対象に、園内のコーナーに関する写真や絵を貼ったボードを選択肢として用いて、園児が好きな場所とその理由をヒアリング調査にて探った。

## C. 調査Ⅰ保育者を対象とした環境評価自由記述アンケート

### C-1. 調査概要

保育者の視点から、こどもがコーナーにある遊具や設えとの関わりをどのように認識しているかを明らかとすることを目的とし、こどものもりの保育士(幼稚園・保育園いずれも)に以下のような定型自由記述と選択式のアンケートを実施した。

〇〇〇〇コーナーについて。 ( )は、( ) ので、子供にとって(良い/悪い/どちらとも言えないが気になる)。
---

アンケートは2008年9月30日に配布し、2008年10月6日に回収した。

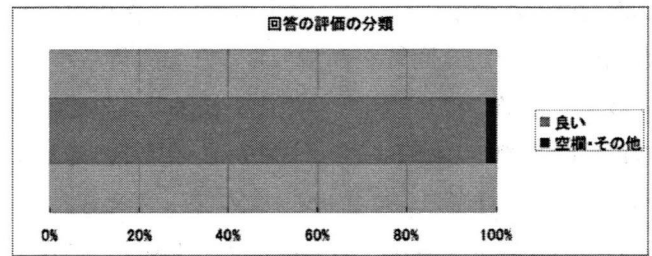
質問は予め調査者が任意で選択した6つのコーナー(図書コーナー、絵のコーナー、ごっこのコーナー、造形のコーナー、クッキングのコーナー、飼育・栽培のコーナー)と自由選択の1つのコーナーの計7つを対象とした。上記の形式の質問を各コーナーで3問ずつ行った。また、各コーナー3問目の後ろに、「どちらとも言えないが気になる」を選択した際の理由を書くための自由記述欄を設けた。

### C-2. 分析方法

#### C-2-1. 環境評価の傾向：良否の選択割合とその理由考察

まず、アンケートで得られた回答を良い、悪い、どち

らとも言えないの評価別に分けた。図表C1のような結果になった。



図表 C 1 アンケートの回答評価 (良否の割合)

総回答数：195

良い：191

その他の回答：4 (どちらとも言えない1票、空欄3票)  
・環境の評価に関する選択式設問に対して、ほとんど全ての回答が子どもにとって「良い」という回答だった。その他の回答の例として、以下のような良いとも、悪いとも言えない評価が回答にあった。

「(包丁の)本物を使うことはよいと思うが同時に、とても危険の伴うことなので、十分な注意が必要。」

「(季節にちなんだ本のコーナーを別途に設け面題して並べられない」

#### C-2-2. 分析と考察の方針

ほとんどアンケートの回答は環境を「良い」と判断するものであった。これは従来予測していた結果の傾向と大きく異なり、その後の分析方法も変化する必要が生じた。ここでは、なぜこのような回答傾向になったかを考察して、その後の分析の方針を示す。

##### ○回答が「良い」に集中した理由の考察

###### 1. 評価者と環境の関わり

回答者は全員、保育者である。保育者は環境を自分達で創る立場なので、自分達が考え、設定した環境に「悪い」評価を与えるのは、「提案なき批判」になってしまう。もし、悪い環境が思い浮かんでも回答しにくいと思われる。また、主体的に環境を良くなるように設計しているので、悪い環境は存在しないという認識をしていると推測される。

###### 2. イメージから答える弊害

回答方法として、アンケート用紙を配布して後日回収する形式をとったが、保育士の方々は、実際に目で見えた光景を評価するのではなく、コーナー保育の場面を思い出しながら回答をしてもらったと考えられる。従って、実際に知覚したものでなく、保育者の認識から得た回答である。そして、あらかじめ環境に対してイメージが保育者の間に共有されていると考えられて、その共通認識が回答されやすい。保育者が環境に対する悪いイメージを共有としているとは考えにくい。

### 3、回答しやすさの問題

今回の調査は、保育者の方々に自由記述式のアンケートだったので、選択式のアンケートと比べて、設問内容が抽象的で回答が困難であると思われる。環境の良い面は普段から意識しているので回答できたが、環境の悪い評価は、あまり考えない事柄なので出てこなかった可能性がある。

以上に挙げた3点などの理由回答が「良い」に集中したことに影響を及ぼしていると考えられる。以上踏まえて、この調査で可能な分析と考察の方針を示す。

#### ○分析・考察の方針

保育者は主体的に環境を設定、改変をしていく立場の人間であることを踏まえて、

今回のアンケート調査は、保育者がどのような認識で環境を設定しているか、どのような環境が良い環境であると認識しているかを知ることが分析・考察の目的とする。

評価の軸や評価対象が何であるかを調べ、コーナー保育がどのような特徴があるかを分析・考察していく。

## C-3. 子どもにとって良いと思える環境と理由についての分析と考察

### C-3-1. 回答結果の分類方法と分析の手法について

保育者が環境を設定する上で、着目した対象は何かを知るためにまず、主語の分類を行う。また、その環境(要素)が子どもにどのような影響を及ぼしているものかを、あるいはどのような影響を狙っているのかを知るために述語を分類する。それぞれで抽出された要素

が何であるか、要素同士がどのような関係であるかを分析していく。

### C-3-2. 主語の分類の定義

回答者が何に対して評価を行っているか着目している対象を抽出した。

評価対象は、具体的な物理的環境(遊具や部屋や設え)を対象にしているもの以外にも、その環境で行われる行動や、コーナーで共有されているルールや規範など抽象概念を評価の対象にするも回答多かった。

アンケートの説明には、「物理的環境」を探ることを目的としていると記載した。しかし、実際の回答にはそれ以外の要素も多く含まれているので、実際の保育者の認識を知ることが目的なので、今回は、物理的環境以外を評価した回答も含めて分析を行うことにした。

#### ○主語の大分類

評価の対象となる主語を自由記述アンケートの主語を以下の3つに分類した。

A.	設え、道具、遊具など物理的環境を構成する部分的要素の評価。
B.	雰囲気、配置、空間など物理的環境の全体的要素の評価。
C.	コーナー自体を評価。

#### A 部分的要素について

評価の対象が実際に子どもや保育者が個体として認識できるもの。個体が1つのものとして評価されているもの。

#### B 全体的要素について

評価の対象が1つの個体ではなく、指示するものの明確な範囲が分からないもの。

#### C コーナー自体を評価について

「コーナー」をそのものとして評価の対象としているもの。または、そのコーナーの機能や実際に行われる行動を評価したもの。

#### ○主語の小分類

大分類に項目を各コーナーに分類を行った。次のページの図表C2にその分類したカテゴリーを掲載する。